**市政トピックス**

**●市民の安全を守るため、春の交通安全県民総ぐるみ運動出動式が開催されました**

　4月6日、市役所東庁舎で、「春の交通安全県民総ぐるみ運動出動式」が開催されました。当日は小雨が降る肌寒い中での開催となりましたが、交通指導隊をはじめ多くの皆さんが出席し、会場内は熱気に包まれました。

　出動式では、古川地区交通安全協会会長の柳川孝行氏から、「昨年度、大崎市では死亡事故が前年比1件増という不名誉な記録を残してしまった。今年は死亡事故ゼロを目指し、一生懸命取り組んでいきたい」という力強い言葉がありました。

　また、4月9日、松山総合支所にて、「大崎市松山地域交通死亡事故ゼロ500日達成」による感謝状の贈呈式が行われました。

　贈呈式の中で、古川警察署長から「500日達成を契機に、今後1000日、1500日と記録を伸ばしてもらいたい」という言葉があり、松山総合支所長は「地域の皆様のご尽力なくして達成はありえなかった。これからも地域の方々と協力して記録をのばしていきたい」と、感謝の言葉を口にしていました。

写真：出動式では、大崎市交通指導隊隊長兼古川分隊長の佐々木雅志氏による宣誓が行われました。

写真：贈呈式には、古川地区交通安全協会松山支部支部長なども参加し、地域全体で感謝状を受け取りました。

**●パタ崎さんを主人公にした絵本が完成しました**

　大崎市の魅力を市内外に広く発信するため、「みやぎ大崎ふつふつ共和国　広報大臣」を務めるパタ崎さんの絵本が完成しました。

　この絵本は、パタ崎さんのもとに、羽をけがしたマガンの友達がやってきて、一緒に市内をめぐり、特徴や名所、名産品などを紹介することで、元気になってもらうというストーリーになっています。

　「ふつふつ共和国の力」という秘密装置を使い、鳴子温泉地域では温泉や紅葉時期の鳴子峡、松山地域では酒ミュージアム、また田尻地域では蕪栗沼など、旧1市6町の地域を次々と移動し、パタ崎さんがそれぞれの地域の魅力を伝えていきます。

　また、世界農業遺産に認定された大崎耕土の農業、生物の多様性などにも触れており、この一冊で大崎の魅力に親しめる、充実した内容となっています。

　図書館をはじめ、市内の幼稚園、保育所、小学校などに配布され、数多くの子どもたちから喜ばれています。

　市の魅力がぎっしり詰まったこの絵本を、親子の交流を深めるため、また地元の素晴らしさを分かりやすく伝えるツールとして、積極的に活用していきましょう。

　詳細は、観光・世界農業遺産プロモーション協議会（23-7097）にお問い合わせください。

写真：パタ崎さんが大崎の魅力を存分に紹介してくれます。

**●2018　4月の主な出来事**

|  |  |
| --- | --- |
| 5日 | ●加護坊桜まつり（5月6日まで） |
| 6日 | ●春の交通安全県民総ぐるみ運動出動式 |
| 8日 | ●大崎市長・市議会議員一般選挙 告示日  ●古川ロータリークラブ創立60周年記念大時計寄贈セレモニー |
| 9日 | ●市立中学校入学式  ●松山地域交通死亡事故ゼロ500日達成 |
| 10日 | ●市立小学校入学式  ●第216回鹿島台互市（12日まで） |
| 15日 | ●大崎市長・市議会議員一般選挙 投開票日 |
| 19日 | ●世界農業遺産認定証授与式 |
| 21日 | ●岩出山さくら祭り  ●三本木菜の花まつり（5月6日まで） |
| 22日 | ●2018まつやま桜まつり |
| 28日 | ●岩出山小学校統合式 |
| 30日 | ●第8回おおさき鳴子温泉菜の花フェスティバル |

写真：古川ロータリークラブから図書館の正面入口に寄贈された時計

**地域発　お・ら・ほ・の・ま・ち**

自分の住む地域を「おらほ」というと、親しみや愛着を感じませんか。

おらほの地域づくり、おらほの隠れた名所、おらほのおいしい特産品、おらほの伝統のまつり、おらほのイベント・・・。

そんな、愛してやまない「おらほの地域」を発信します。

**●鹿島台発　春の風物詩、鹿島台互市**

　4月10日～12日、毎年恒例の鹿島台互市が開催されました。

　期間中は好天に恵まれて、64,000人の人出で活気にあふれ、会場の昭和通りは多くの露店と買い物客でにぎわいました。

　また、4月10日には、おおさき宝大使の千田豊治氏が代表を務めるジー・オー・ピー株式会社より、大崎市へ鹿島台太鼓を載せる台車が寄贈され、鹿島台駅前西口交流広場で贈呈式が行われました。

　鹿島台太鼓代表の庄子富夫氏は「鹿島台太鼓が始まって40年、これまではいつ壊れるかわからない台車で太鼓を引いていたが、これからは心置きなく太鼓を引けそうだ。今後もたくさんの思いが詰まった鹿島台太鼓を、大切な伝統文化として引き継いでいきたい」と話をしていました。

　贈呈式では鹿島台太鼓の演奏が披露され、勇壮な太鼓の響きに多くの来場者が足を止め、聞き入っていました。

写真：来場客が出店者におすすめを聞いたり、値引き交渉をするなど、互市ならではの光景がいたる所で見られました。

写真：太鼓の迫力のある演奏が、互市をいっそう盛り上げていました。

**●古川発　桜の一大名所 化女沼に広がる桜の輪・人の輪**

　化女沼は、平成20年10月にラムサール条約の登録湿地として認定され、今年で10周年の節目を迎えます。ラムサール条約とは、渡り鳥や湿地の生態系を保護することを目的とした国際条約で、市内では化女沼と蕪栗沼が認定されています。

　4月7日、ラムサール条約登録10周年と、世界農業遺産認定を記念して、「化女沼2000本桜の会」の皆さんが、の苗木10本を植樹しました。

　化女沼2000本桜の会の皆さんは、化女沼の自然を守り、桜の名所にしようと、18年前から化女沼に桜を植樹し続けています。当時植樹された桜の木は、今では大きく成長し、咲きほころぶ花で多くの花見客を魅了しています。

　代表の佐々木哲朗さんは「これからも化女沼を訪れる人が増えてくれるように、情報発信していきたい」と話していました。

写真：化女沼の水面に映る桜の木は、いっそう美しい姿を見せてくれます。